

復興支援に向けて

阿蘇市長 佐藤 義興

今回の東北地方太平洋沖地震により被災されました多くの方々に対し、心からお見舞いを申し上げますとともに、不幸にもお亡くなりになりました方々に、深甚なる哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

現地では、不眠不休の救援活動、懸命の捜索活動が進められています。その爪痕は深く大きく、被害の甚大さに驚愕しています。

未だ余震が続く中、寒く不自由な避難生活を余儀なくされている方々、また、家を失い家族を失い、自らも生死の境にさらされた多くの方々、その方々の心労を思いますと、言葉に表すことのできないほど、深く悲しく、無念さを感じ、心が痛みます。

未曾有の大災害であり、復興までには相当の費用と時間を要します。市民の皆様方におかれましては、早々に、善意のお気持ちを義援金としてご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

被災地の一刻も早い復興と被災された方々の生活再建に向け、今後も引き続き、義援金、支援物資等のご協力をお願いすることになりますが、皆様方のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

現在の阿蘇市の支援状況

◆義援金の受付

市内25カ所の公共施設に義援金箱を設置するとともに、各地区の区長さん方のご協力をいただき、戸別のお願いに回っております。(21ページ参照)

◆支援物資の受付

必要な物資が、必要な時期に効率的に被災された方々に届くよう、熊本県が指定する支援物資の受付けを行います。随時、防災無線や市のホームページを通じお知らせします。

◆被災者の受け入れ

現在、2戸の市営住宅を準備済み。今後も順次、受入可能住戸を増やします。また、公共施設への受け入れ準備を進めています。

◆現地への職員の派遣

熊本県や関係機関、被災地の要請に応じ、現地への職員の派遣を積極的に行います。現在、「熊本県災害派遣保健医療チーム」への帯同と避難所等での被災者支援活動に向け調整を図っています。

◆東日本大震災復興支援対策本部の設置

被災者に対する支援を総合的に進めるため、東日本大震災復興支援対策本部を設置し、専任の職員を配置しました。支援物資や義援金の受付けをはじめ後方支援体制を確立するとともに、被災者の受け入れや今後の生活再建に向けてのサポートを行います。

※自治体によっては、公費による義援金の支出が行われておりますが、阿蘇市としては、早期復興のためには、先ず、インフラ整備やライフラインの完全復旧、学校をはじめとする教育施設など生活基盤の復旧を第一と考え、被災自治体への公費による直接的な支援の検討も併せて行います。市民の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。